

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県 高島市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	高島市文化遺産を活かした地域活性化事業 実施計画		【計画の改善時期】 平成30年度
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
「第2次高島市総合計画」（平成28年度策定）および「高島市教育大綱」を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用した地域活性化を推進するため、下記の取り組みを実施する。また実施計画期間中は、下記の取り組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。			
6 実施体制			
高島市教育委員会が、本実施計画に係る全体の調整や、各補助事業に係る指導を行う。また補助事業は次の団体が実施する。 高島市文化遺産活用実行委員会 （構成団体：安曇川流域文化遺産活用推進協議会、マキノ資料保存実行委員会、朽木の知恵と技発見プロジェクト、ヴォーリズ今津郵便局の会、高島の盆踊り歌保存会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 24,399 千円	平成30年度申請額： 6,234 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
これまであまり知られていなかった地域の文化遺産の価値を明らかにするとともに、継承者育成や普及事業を実施していくことで、地域の文化遺産の適切な保存と継承をはかることができる。具体的には六斎念踊りの必要人数である7人に近い数の継承者を育成することができるほか、継続的に地域の文化遺産を案内することのできる案内人を養成することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成30年度から、地域の文化遺産の状況把握、調査等を行い、平成32年度を目途に高島市歴史文化基本構想の策定を目指す。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	高島市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	地域の文化遺産などの見学者数			関連事業:	②⑥	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50 人					
設定根拠 1 :	平成28年度までの見学者数と周辺観光地の状況から判断して、毎年伸び率1.2倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	地域資料整理事業等への協力者			関連事業:	①④⑦⑨	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 2 :	各地域での保存会活動状況から予想される人数を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	古屋六斎念仏踊保存会の会員数			関連事業:	③⑤⑧	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 5 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 8 人					
設定根拠 3 :	平成28年度事業で誕生した継承者候補の状況から設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	高島音頭情報発信事業	実施団体：	高島の盆踊り歌保存会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	高島市域全域に伝わる高島音頭を多くの人に伝え、関心を持つ人を増やすため、これまで撮影した映像を編集し、一般の人にも分かりやすい動画データを作成する。また、これまでの経緯、歴史、現状等を紹介するパンフレットを作成する。				
評価指標区分：	・制作映像の上映会等への貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	上映会への貸し出し、利用回数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
回	回	回	回	回	回
事業②：	シコブチ信仰に関する案内ガイド人材育成事業	実施団体：	安曇川流域文化遺産活用推進協議会		
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	シコブチ神社や林業の産業遺産遺構などの現地案内ガイドを養成する講座を開催する。シコブチ関連のスポットとともに、その他の地域文化財の魅力を発信できるツアーを企画、案内できるガイドを養成する。				
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	ガイド養成講座修了者で、シコブチ信仰に関するガイド（案内）を行った人の数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
事業③：	六斎念仏踊り指導者人材育成事業	実施団体：	朽木の知恵と技発見プロジェクト		
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	六斎念仏踊りを継承するため、その踊り方や念仏を教える指導者を育成する。				
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	指導者育成事業に参加した人が、その後に継承を育成するための指導を行った回数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業④： 朽木の知恵と技・発見復活プロジェクト		実施団体： 朽木の知恵と技発見プロジェクト			
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要： 古くから朽木で行なわれてきた植物繊維の織物の技術を復活・継承するための普及事業を実施する。僅かながら技術継承者や道具が残っていることから、それらを保存・継承するための普及事業を行う。					
評価指標区分： ・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標： 植物繊維の織物をつくる技術の継承を応援する人の数					
目標値： 【現状値】 平成 29 年度 5 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10 人					
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑤： 六斎念仏踊りの普及啓発のためのワークショップ開催事業		実施団体： 朽木の知恵と技発見プロジェクト			
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要： 継承を応援する人や後継者となる人を増やすためワークショップを開催する。ワークショップは体験を交える内容とし、関心のある人が参加しやすく興味を持ちやすい内容とする。発表会の開催と組み合わせることで、多くの年代層、関心層に呼びかけ、地域文化を知ってもらうことを目指す。					
評価指標区分： ・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標： 六斎念仏踊りの継承を応援する人の数					
目標値： 【現状値】 平成 29 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人					
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑥： ヴォーリズ通りの普及啓発事業		実施団体： ヴォーリズ今津郵便局の会			
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要： 今津町ヴォーリズ通りに並ぶ3棟のヴォーリズ建築を広く普及し、至近距離に並んでいることを利用して、旧今津郵便局内で建物補修・保存ワークショップを開催する。多くの人に地域の文化遺産の状況を知っていただき、地域活性化に向けた取り組みを進めることを目指す。					
評価指標区分： ・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標： ヴォーリズ通りで開催されるイベントを応援する団体、個人の数					
目標値： 【現状値】 平成 29 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人					
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑦：	昔の漁業体験会の開催事業					実施団体：	マキノ資料保存実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	昔の漁具の機能を勉強し、地域の古老から漁具の使い方や作り方を学び、その道具を使って、漁業体験会を開催する										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）						（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：	体験イベントに参加し、後年、文化遺産を活かすための活動が見込まれる人数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑧：	六斎念仏踊りの普及啓発のための発表会開催事業					実施団体：	朽木の知恵と技発見プロジェクト				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	地域内外の人に六斎念仏踊りを見てもらえる発表会を開催する。本来の念仏踊りの日である8月14日の日中に発表会を行うことで、地元の継承者、新たに伝統を引き継いだ後継者が一緒に発表を行う機会とする。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）						（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：	六斎念仏踊りの継承を応援する人の数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 8 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 12 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑨：	高島盆おどり大会開催事業					実施団体：	高島の盆踊り歌保存会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	「高島音頭」と総称される高島の盆踊りの発表会を行う。市内に伝わる複数の盆踊を一度に見ていただける機会を提供する。										
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数						（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：	高島の盆踊り歌保存会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						